

バンド活動を楽しむ人たち

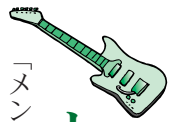
～バンド活動している人ってカッコいい!!～

市民リポーター 見上淳子、田村雅子



幼いころから好きで続けてきた楽器。プロ顔負けの技術を持つ人たちが、仕事を持ちながら仲間たちとバンド活動をしています。

中学・高校のころは、何か楽器をやってみたいという人がけっこういるように思います。社会人になっても続けている人たち取材してみました。



レッドブーツ

「メンバー4人は全員能代市出身！」
おのおのの仕事を終えて午後7時過ぎ、自分の楽器を持って青少年ホームの音楽室へ集まってきます。

高校の時から音楽仲間、10時まで借りて練習します。

青少年ホームの音楽室でガンガンと迫力ある音楽を演奏している30代の皆さんです。

仕事の都合で比内町から来る人もいるため、遅くなってやつとメンバーがそろいます。

演奏する曲は、洋楽のハードロックで、耳で覚えて自分たちなりにアレンジします。

▼演奏にはパソコンも参加

エレキギター2本、ドラム、ボーカルという構成です。メンバーが少ないので、足りない楽器のベースやキーボードなどはパソコンに入力し、パソコンが演奏に参加して手伝ってくれます。

すぐ近くで演奏を聴かせてもらいましたが、生演奏の迫力にはまっています。

バラードが個人的に好きですがハードロックも魅力的です。

機械によって、音の不足分は補えても、やっぱりメンバーを増やして生の

楽器で演奏したいというのが本音のようでした。

▼演奏会に参加

頭にインプリントされている曲は30〜40曲ぐらいありますが、楽譜をみないで演奏します。

昨年は「ホットスプリングパーティー」で演奏しました。声がかかれば出演する準備はできているそうです。

そういう機会がたくさんあって、わたしたちを楽しませて欲しいと思いました。



パソコンも手伝います！